

【検討単語の確定について】2022年度 第3回本委員会 【結果の記入方法】創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

番号	時事用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1	終活	人生の終わりを見越して取り組む準備のこと。財産管理・不動産・相続・治療・介護・葬儀・お墓などがあり、終活をすることによって①家族の負担を減らす、②家族間のトラブル回避、③自分らしく生きられる、④死後の不安を軽減できるなどのメリットがある。「エンディングノート」も終活の1つ。	<エンディングノート(2019-79)>	北海道	●	「生涯」(少し前で止め) + 「整理」(真っ直ぐ右へ)	ア● アレンジと 組み合わせ	本委員全員が、事前に9班の映像を見てどの班の案が良いか意見を出し合った資料を元に検討。 9班の案を見ると、関東班・九州班の案が、本委員の賛成が多い。日本語通りだと2動作目は「活動」となるが、「準備」「整理」の方が、意味に合う。 <整理・整頓>…順次右へ移動 <用意>…弧を描いて右へ <準備>…真っ直ぐ右へ と微妙に異なる。 <生涯>の右手を少し前で止め、<準備>(真っ直ぐ右へ) 表現しているのは北海道班。 ⇒<生涯>の右手を少し前で止め、+<準備>(まっすぐ右へ) ※北海道班の案を採用
				東北	●	「生涯」と「終わる」を組み合わせた表現		
				関東	●	「生涯」の右手を左手近くで止める + 「活動」		
				北信越		生涯 + 活動		
				東海	○	「最期」を途中まで表し、「活動」		
				近畿	●	「生涯」 + 「活動」		
				中国	●	生涯 + 準備		
				四国	●	/生涯/ + /準備/		
				九州	●	生涯 + 片付け(右へ3回)		
2	解析	物事を細かく解き開き、組織的、理論的に研究すること。 参考:「分析」物事を分解して(細かな要素に分けて)、その性質、構造などを明らかにすること。(Wowowコミュニケーションズより)	「分析」と「解析」の違いはネットにたくさん出ています。	北海道	●	「研究」 + 「分析」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<研究B><分析><調べる><解決>などが使われているが、表現の順番が色々。 <分析>と<研究B>を使うのが意味に合うと思うが、どうするか? ⇒<分析>(1回) + <研究B>(1回) ※四国班の案を採用
				東北	◎	成分等に細かく分けて構造を調べる様子の表現		
				関東	●	「分析」 + 左から場所を変えて右手を3回握る		
				北信越		分析 + 分ける		
				東海	○	「調べる」 + 「分析」		
				近畿	●	「分析」 + 「調べる」		
				中国	●	解決 + 分析		
				四国	●	/分析/ + /研究/		
				九州	●	分かる + 分析		
3	差し戻し	① 提出された書類・案件などをもとへ戻すこと。 ② 訴訟上、上級審において原判決を取り消しまたは破棄する場合にとられる処置。事件を原審である控訴審または第一審に戻して、もう一度審理させること。 ※サ行五段活用の動詞「差戻す」の連用形。あるいは連用形が名詞化したもの。(weblio 辞書より)		北海道	●+ア	(片手で)もらう + (片手で)あげる	● 保留	9班の案を見ると、出したものを戻される といった表現が多い。 「差し戻し」は裁判用語として定着している。戻す、または戻される、どちらの表現が適切か? また、単に戻すだけでは足りない表現が必要なのは? 専門家の意見も聞いて再検討したいということで、今回は保留に。 ⇒保留
				東北	●	「戻る」と「あげる」を組み合わせた表現		
				関東	●	「申込む」 + 右手を斜め上から手前に戻す		
				北信越		提出 + 戻る		
				東海	○	「出す」 + 「戻す」		
				近畿	ア	手を差し出して戻す様子		
				中国	●	出す + 戻す		
				四国	ア	斜め上に上げた手をすぐに自分の方に下げる		
				九州	●	渡す + 返される		
4	青少年	青年と少年。ふつう、12歳から25歳くらいまでの男女のこと。青少年保護育成条例などでは18歳未満の未婚の男女をさす。(goo国語辞書より)		北海道	●	「若い」 + 「少年」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、ほとんど同じ表現。ただし、<少年>の左手を人差し指で表すことに。 ⇒<若い>+左手人差し指にかえて<少年>の動作 ※●班の案を採用
				東北	●	「若い」と「少年」を組み合わせた表現		
				関東	●	「若い」 + 「少年」		
				北信越		若い(青年) + 少年		
				東海	○	「若い」 + 「少年」(ただし、人差し指)		
				近畿	●	「若い」 + 「少年」		
				中国	●	若い + 男 + 少		
				四国	●	/若い/ + /少年/に左手は人差し指で		
				九州	●	若い + 少年(親指でなく人差し指)		
5	職権	職務を行ううえで与えられている権限。公の機関や公務員などがその地位や資格に基づいて一定の行為をなす権限およびその範囲。(weblio 辞書より)		北海道	●+ア	「仕事」 + 「権利」(「り」削除)	<~権> △ ラベルの追加 ● 組み合わせ	9班の案を見ると、ほとんど同じ表現。以前から使われている「〇〇権」のラベルが無いので、作ることに。 <~権> ⇒<力・能力>と同じ <職権> ⇒<職業・仕事>(1回) + <力・能力・~権> ※●班の案を採用
				東北	●	「仕事」と「権利」を組み合わせた表現		
				関東	●	「仕事」 + 「力」 + 「間、期間」		
				北信越		職業 + 力		
				東海	●	「仕事」 + 「権利」		
				近畿	●	「仕事」 + 「パワー」		
				中国	●	仕事 + 権利		
				四国	●	/仕事/ + /力/		
				九州	●	仕事 + 権利		
6	群衆雪崩	人が密集した場所で1人が倒れるなどして隙間ができ、集団のバランスが崩れることで雪崩を打つように転倒者が広がる現象。一方向に倒れる「将棋倒し」や「ドミノ倒し」と異なり、多方面に転倒する。 ・2001年…兵庫県明石市の花火大会会場近くで起きた歩道橋事故 ・2022年10月29日の韓国・ソウルの繁華街、梨泰院(イテウォン)など (三省堂 新四字熟語辞典より)		北海道	ア	「遠足」前に進めながら倒す	ア● アレンジと 組み合わせ	「創作手話コンテスト」の課題。優勝者の表現は、<両手を前後におき右手を揺らしながら手前に動かし、続けて揺らしながら左手に近づけ両手をたおしていく>。 9班の案を見ると、2動作目は、重なり合って倒れる様子をイメージした似た表現だが、1動作目は、<満員>または<集まる>または列を作る表現に分かれる。検討した結果、コンテスト優勝者の表現が分かりやすいという意見でまとまった。九州班の案が一番近い。最後は、九州班の表現のように、左手甲に右手の指先が少し重なるようにする。倒れる回数は2回としているが、状況に合わせて表すこと。 ⇒掌前向きの両手を前後に置き右手を手前少し上に引き(<大会>の逆向き)、+同時に2回前方に倒す(最後は両手を少し重ねる) ※九州班の案を参考
				東北	●	「集まる」と「雪崩」を組み合わせた表現		
				関東	◎	掌を前に向け指を開いて両手を立てる(群衆)。両手を倒して前方に滑らせる(雪崩)。		
				北信越		満員 + 倒れる様子		
				東海	●	「混む」、右手を人差し指、左手はすべての指で前方に倒す		
				近畿	◎	「集まる」 + 急に流れる様子		
				中国	●	混む + 人落ちる		
				四国	ア	/列/ + 重なり合って倒れる		
				九州	ア	手の甲をたたきながら倒す(3回)		
7	バズる	インターネットやSNSなどを介し、急激に、消費者のロコミで話題が拡散し注目が集まることを意味する言葉。英語のbuzzが語源となっており、簡単に言い換えるならば「バズる」=「SNSで話題になる」とも言える。(SI:システムインテグレーターより)		北海道	ア+●	「環境」の右手を広げて動かす + 「すごい」	● 組み合わせ	「バズる」とは、インターネットやSNSなどを介し、急激に、消費者のロコミで話題が拡散し注目が集まることを意味するので、インターネット関連の表現があった方がよい。 パソコンを使う場合もあるが、おもにスマホで拡散するイメージが強いので、東海班の案が良いのでは。 ⇒<スマホ>+<普及・広がる> ※東海班の案を採用
				東北	◎	クチコミで広がっていく様子の表現		
				関東	●	左掌に曲げた右手5指の先を3回つける + 「流行、広がる」		
				北信越		きっかけ + 広まる		
				東海	●	「スマホ」 + 「流行」		
				近畿	ア	「つける」 + 急に拡散する		
				中国	●	人 + 下へ流行る		
				四国	●	/インターネット/ + 左手はそのまま右手で/言う/繰り返す		
				九州	○	流行る(強め)		

8	芳しい	「匂いが良い」「香ばしい」「好ましいもの、立派なもの」と認められるさまなどの意味。	北海道	ア+●	人差し指中指で「匂い」+「良い」又、「立派」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<良い>に表情を加えた表現案が多い。「快い」というニュアンスが必要なので、<心地よい>を組み合わせた表現でどうか。 ⇒<良い>+<心地よい(気分がよい)・醒醐味> ※関東班の案を採用
			東北	◎	すぐれているさまの表現		
			関東	◎	「良い」+右手で胸を2〜3回小さくなでる		
			北信越		「良い」を横に動かす(良い+素晴らしい)		
			東海	△	「良い」をゆっくり表現		
			近畿	△	「良い」		
			中国	△	良い良い		
			四国	△	清々しい表情で/良い/		
九州	×	例文によって表現方法が変わるため、作成できず					
9	芳しくない	「芳しくない」は、これらの意味を打ち消す場合にも使われますが、一般的には、成績や体調、天気などがあまり良くない場合に使用されることが多い表現。 (例: 「営業成績が芳しくない」 「母の体調が芳しくない」 など) (indeed キャリアガイドより)	北海道	ア	「良い」を取り消すように「ない」	ア アレンジ	9班の案を見ると、<良い>に否定を加える表現案が多い。<良い>+否定(首振り)か、<良い>+否定(顔の前で手を振る)で迷ったが、近畿班の<良い>+否定(首振り)を採用した。 ⇒<良い>を表したまま首を小さく左右に振る ※近畿班の案を採用
			東北	◎	鼻を折るさままで良くない状態の表現		
			関東	ア	「良くない」を小さく弱く		
			北信越		「良い」+ 無い		
			東海	△	握った右手を鼻に当て、下に突き出す(ない、否定)		
			近畿	ア	「良い」を表現しながら首を横に振る		
			中国	△	ダメ		
			四国	△	徐々に下がっていく様子		
九州	×	例文によって表現方法が変わるため、作成できず					
10	アラーム	① 警報。警報器。 ② 目覚まし時計。また、時計に組み込まれた注意信号を出す機能。(weblio 辞書より) ※it関連では、操作や入力に誤りがあったときに表示される警告や警報のこと。	北海道	ア	左掌を振動させ、折り曲げた右手2指を近づける	保 保存手話	9班の案を見ると、振動する動作と、ベルが鳴る動作とに分かれる。振動する動作…ろう者 ベルが鳴る…健聴者 のイメージになる。どちらを採用するか、また「A」「B」を作るか意見が分かれたが、採決の結果、ベルが鳴る動作を採用することに。左手の「オ」を寝かせている班があるが、関東班・東海班のように5指の輪が見える方がよいということに。 ⇒左手「オ」の指の背側を、曲げた右手人差し指の先で素早く数回叩く ※関東班・東海班の案を採用
			東北	◎	アラームが振動する様子の表現		
			関東	保	丸めた左手を曲げた右手人差し指で連打する(目覚まし時計)		
			北信越		指文字「あ」を振る		
			東海	○	時計のベルを鳴らすしぐさ		
			近畿	保	ベルを鳴らす様子		
			中国	●	G + 鳴る		
			四国	保	ベルが鳴る様子		
九州	保	① 手をすばめた状態で自分に向けて光る ② 痛い(口形をつけること)					
11	ストップウォッチ	針を自由に止めたり動かしたりして、時間を秒以下の単位まで精密にはかるための時計。運動競技(陸上競技・水泳など)・学術研究などに使用する。(weblio 辞書より)	北海道	ア	ストップウォッチを持ってスイッチを押す様子	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、同じような動作だが、親指を素早く1回押す動作がよい。 ⇒<記録A>と同じ(素早く押す) ※北海道班・東北班・関東班・九州班の案を採用
			東北	◎	「ストップウォッチ」のイメージの表現		
			関東	◎	右手を握って親指を立て、素早く曲げて立てる		
			北信越		ストップウォッチを操作する仕草から		
			東海	○	ストップウォッチを押すしぐさ		
			近畿	◎	ストップウォッチのボタンを押す様子		
			中国	△	タイム		
			四国	保	ストップウォッチを押すようす		
九州	保	ストップウォッチを押すしぐさ					
12	スマートウォッチ	スマートフォンと連携して使う腕時計型端末のこと。メール通知を確認することやスマートフォンのアプリと連携して心拍測定、歩数計測することなども可能。	北海道	ア	時計の位置で画面をスライドする様子	○ 合成	9班の案を見ると、腕時計の位置でスマホを操作する動作が多い。左手の腕時計の位置で、右手人差し指を前に2回動かすのがよい。 ⇒左手の腕時計の位置で右手人差し指を前に2回なぞる(スマホを操作するような動作) ※北海道班・北信越班・近畿班・九州班の案を採用
			東北	◎	「スマートウォッチ」のイメージの表現		
			関東	ア	「腕時計」+左手首の上で「スマホ」		
			北信越		スマートウォッチを操作する仕草から		
			東海	●	左手の時計を右手の人差し指で前方に払う		
			近畿	◎	片手の腕時計の上にスマホのように指を動かす		
			中国	●	時計 + スマート		
			四国	ア	/携帯電話/ + /腕時計/に当てる		
九州	●	時計 + スライド(上の方に向けて)					
13	原文	翻訳、改作、加筆、訂正などをしていないものとの文章。(コトバンクより)	北海道	●	「元」+「文」(<文章>の表現)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、ほとんど同じ表現だが、2動作目が<文>と<文章>に分かれる。加筆・訂正などしていない元の文章のことなので、<文章>が意味に合う。 ⇒<基づいて・抜本・根本(的)>+<文章> ※北海道班・東北班・北信越班・東海班・近畿班・九州班の案を採用
			東北	●	「基礎」と「文」を組み合わせた表現(<文章>の表現)		
			関東	●	「元」+「文」		
			北信越		元 + 文 (<文章>の表現)		
			東海	○	「元」+「文」(<文章>の表現)		
			近畿	●	「元」+「文」(<文章>の表現)		
			中国	●	元 + 文		
			四国	保	/元/ + /文/		
九州	●	元 + 文 (<文章>の表現)					
14	考察	物事について明らかにするため、よく調べ考えること。例えば、プレゼンテーションやレポートなどで一つのテーマや調査する内容について深く調べ、そのことについての論理的な根拠などを提示しながら考えを述べることを指す。(マイナビニュースより)	北海道	●	「調べる」+「考える」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<考える>+<調べる>または、語順を逆にした<調べる>+<考える>が意味に合う。語順をどうするか意見が分かれた。 ⇒左手<考える>+左手そのまま、右手<調べる・査察・調査・探す・検査・監査・測定> ※関東班・北信越班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	「調べる」と「考える」を組み合わせた表現		
			関東	●	「考える」+「調べる」		
			北信越		考える + 調べる		
			東海	●	右手の手のひらを見て、考える		
			近畿	●	「調べる」+「考える」		
			中国	●	細かく + 考える		
			四国	●	/考え/ + /調べる/		
九州	●	考える + 調べる					

15	修飾	① 美しく飾ること。よく見せるために上辺を飾ること。 (例:「過大に修飾して話す」など) ② 文法で、ある語句が他の語句の意味を限定したり詳しくしたりすること。 「修飾語」…文の中で「どんな」「何を」「どのように」「どこで」などいろいろなことを表し、ほかの部分の内容をくわしく説明する部分のこと。主語でも述語でもない部分が修飾。		北海道	●	左手は「単位」(<句>の表現)の右手の形に右手で「補う」	○ 合成	9班の案を見ると、補う・追加・飾るなどが見られる。「修飾」と「修飾語」では使い道が異なるので、区別が難しいが、北海道班の案がシンプルで使いやすいのではないかな。 ⇒左手<句>に向けて右手<補う> ※北海道班の案を採用
				東北	◎	指先を前に向けた両手2指を上下に置き、「追加」の様子		
				関東	◎	両手で交互に上から下へ何かを貼り付けるようにする		
				北信越		「美しい」+「単語」の手話の上に「単語」追加		
				東海	●	顔の周りを飾り、「加える」		
				近畿	△	両手で飾りを相互に入れる様子		
				中国	●	単語 + 何?		
				四国	○	左手/句/ + 右手で飾る様子		
				九州	●	補う + 言葉(利き手のみ)		
16	事変	① 天変地異や突発的な騒動などの、非常の出来事。変事。 ② 警察力では抑えきれず、軍隊の出動を必要とする程に拡大した騒動。 ③ 宣戦布告なしに行われる国家間の戦闘行為。(例:「満州事変」など)(goo国語辞書より)		北海道	●+ ア	「状態」+ 両掌で「代わる」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、漢字のままの表現が多い。「満州事変」「上海事変」のように使われ、軍隊の出動が必要な大混乱のことなので、漢字の表現では弱い。2022年12月に確定した<有事>と同表現が意味に合う。 ⇒<有事(2022年12月確定)>と同じ (<混乱>+<起こるB(2022年12月確定)> ※九州班の案を採用(関東班の案も近い)
				東北	●	「いきなり」と「乱」を組み合わせた表現		
				関東	保	混乱を表し、そのまま右手を上に向けて上げる		
				北信越		左手は指文字「こ」+ 右手で「違う」		
				東海	ア	「事件」の右手を「変わる」で表す		
				近畿	ア	「事」+「変わる」の変型		
				中国	●	突然 + 変わる		
				四国	○	左手/事/ + 右手/変わる/ 同時に行う		
				九州	●	トラブル + 起きる		
17	染みる	* <u>研究員からの提案テーマは「心理・抽象」</u> 「液体や匂い、味などがほかの物に移りついて、次第に深く広がる」ことや、「にじんで汚れる」、「悪い影響を受ける」といった意味を表す言葉。 例えば、「鼻血がシャツに染みる」「垢染みした下着」「味の染みした食材」「悪習に染みる」「所帯染みした雰囲気」などのように使われる。(社会人の教科書より)	参考:「骨身にしみるA・B(2017-65)」では「痛い」を使っている	北海道	◎	下向きにした左掌の隣で右掌を閉じながらおろす	ア アレンジ	9班の案を見ると、<透明>を下に向けたほぼ同じ表現。分かりやすいのでそのまま採用する。(近畿・四国班のように左手甲を上に向けて) ⇒右手5指を、甲を上に向けた左手に上から交差させる ※近畿班・四国班の案を採用
				東北	◎	体内に染みていく様子の表現		
				関東	◎ 保	A 左胸前で指先が交差するよう両手を開く B 掌を上向きの左手指の間に右手4指を上から直角に差し込む		
				北信越		A 水滴が落ちる + じわっと染みていく様子 B 「痛い」		
				東海	○	開いた両手を上から下に突き刺す(透明を上下にしたもの)		
				近畿	◎	片手の甲の上からもう一方の片手で染み込むように流す		
				中国	保	①透ける ②納得		
				四国	保	右手は指を開き、右手をその間にしみこんでいくように		
				九州	保	透明(下に向けて表現)		
18	敵意	敵対しようとする心。相手を敵として憎む気持ち。(例:「敵意をいだく」「敵意に満ちた表情」など)(goo国語辞書より)		北海道	△	「敵」にラベル追加 表情は睨む	<敵B> 保 保存手話 <敵意> ア アレンジ	9班の案を見ると、保存手話の<敵>(両手「キ」を向き合わせる)がよく使われているが、確認したところ表現案のようなく敵B>のラベルがない。別の表現で<敵A>があるので<敵B>とすること。 <敵意>を<敵B>のラベル追加も検討したが、<敵意>には気持ち(表情)が入るため、<敵B>との区別を考えた。どちらも、表現するときの関係性の合わせ、<敵B><敵意>の手の向きを変えて使える。 <敵B> ⇒両手「キ」を強く向き合わせる ※中国班の案を参考 <敵意> ⇒両手「キ」の指先を少し離して向き合わせ左右に強く引き離しながら「キ」の形にする ※近畿班の案を採用
				東北	◎	「き」の指文字で向き合って嫌な顔の様子		
				関東	保	A 斜め上を指差す + 「恨み」 B 顔前で離れた左手3指をつけて指文字「き」を作り少し遠ざける		
				北信越		両手の指文字「き」を向かい合わせて離す + 「気持ち」		
				東海	●	「敵」+「気持ち」		
				近畿	保	両方の手を「キツネ」の形に向かい合わせて、引き離す		
				中国	●	敵 + 敵		
				四国	● 保	/敵/ + /思う/ ※四国では両手とも指文字/き/を引き離す		
				九州	●	気持ち + 敵		
19	特異	* <u>研究員からの提案テーマは「心理・抽象」</u> ① 特別に他とちがっていること。また、そのさま。(例:「彼はこの会社では特異な存在だ」など) ② 特にすぐれていること。また、そのさま。(例:「特異な才能の持ち主」など)(goo国語辞書より)		北海道	●	「特別」+「珍しい」	○ 合成	9班の案を見ると、<特別>、<珍しい>、<違う>を使った表現案が多い。四国班の合成手話が良いのでこれを採用したい。 ⇒<特徴・特異>と<違う>の合成 (左手甲から2指を開いた右手人差し指の先をはね上げる) ※四国班の案を採用
				東北	◎	ひとつだけ突出している様子の表現		
				関東	保	指の腹を手前に向けて立てた人差し指を顔の前まで上げる		
				北信越		「珍しい」+「得意」		
				東海	○	開いた両手を左右に広げた端で、右手の人差し指を上		
				近畿	●	「違う」+「めずらしい」		
				中国	●	特 + 珍しい		
				四国	○	/特別/ + /違う/ の合成		
				九州	●	特 + 指文字「て」(非利き手)+人差し指を上げる		
20	捻る	* <u>研究員からの提案テーマは「心理・抽象」</u> ① 指先でつまんで回す。(例:「スイッチをひね」「コックをひねる」など) ② からだの一部をねじって向きを変える。(例:「腰をひねる」「足首をひねって痛める」など) ③ ねじって回したり、締めたりして殺す。(例:「鶏(とり)をひねる」など) ④ つねる。(例:「ほっぺをひねる」など) ⑤ いろいろと悩みながら考えをめぐらす。(例:「対策に頭をひねる」など) ⑥ わざと変わった趣向や考案をする。(例:「ひねった問題を出す」など) ⑦ 苦心して俳句や歌などを作る。(例:「一句ひねる」など) ⑧ 簡単に負かす。かたづけ。(例:「相手投手に軽くひねられる」など) ⑨ 金銭を紙に包む。(例:「心付けをひねって渡す」など)		北海道		(頬を)捻る、(鶏の首を)ひねるのように状況に合わせて表す(事務局)	ボツ	9班の案を見ると、手で何かを捻る表現が多いが、文脈に合わせて様々な表現が考えられる。 ⇒状況・意味に合わせた表現が必要ということで「ボツ」とすることに。
				東北	◎	何がひねる様子の表現		
				関東	保	右手拳を顔の横で前後に回す		
				北信越		両手の指文字「ひ」を向かい合わせてねじる		
				東海	○	ひねるしぐさ		
				近畿	×	(内容によっていろいろ表現が変わるので検討不可)		
				中国	保	つまんで回す		
				四国	保	何かをひねる動作 あるいは/考える/		
				九州	保	① 鍵 ② ベッパームル(腰の場合)・手首を返す(足首の場合) ③ 絞める ④ つねる ⑤ 考える(表情) ⑥ 難しい ⑦ 作る ⑧ 倒す ⑨ 紙を包む+あげる		

21	理性	感情に走らず、道理に基づいて考えたり判断したりする能力。 (日本語大辞典より)		北海道	ア+●	頭の横で「り」+「性格」	ア アレンジ	9班の案を見ると、四国班の<感情>をアレンジした表現が面白い。 ⇒5指をつまんだ右手をこめかみから下げる (<感情B>の逆の動作) ※四国班の案を採用
				東北	◎	「り」の指文字をつけ、半回転させてはね上げる表現		
				関東	◎	指先を後ろに向けた「こ」を顔の横で下げる + 「考え」		
				北信越		「心」+「マナー」		
				東海	●	「指文字り」+「性格」		
				近畿	ア	「道徳」1回+「性格」		
				中国	●	きちんと + 考える		
				四国	ア	/感情/ の手話を動きを逆に		
九州	●	指文字「り」で性質						
22	インボイス(制度)	売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるもの。 具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が追加されたものをいう。		北海道	●	「い」+「請求」	保留	9班の案を見ると、適当な手話表現がなく指文字が多い。指文字と手話を組み合わせた標準手話はあるが、指文字だけの標準手話を確定したことはない。保留とした。 ⇒保留
				東北	●	「包括する」と「請求される」を組み合わせた表現		
				関東		指文字「インボイス」		
				北信越		「消費税」+「請求」		
				東海	●	「いわれる」+「出す」		
				近畿	◎	「T」+「計算する」		
				中国	●	イ + 税		
				四国	●	指文字		
九州	●	指文字「い」と「お」を合わせる+「請求」						
23	インボイス制度(適格請求書等保存方式)	売手であるインボイス発行事業者は、買手である取引相手(課税事業者)から求められたときは、インボイスを交付しなければならぬ(また、交付したインボイスの写しを保存しておく必要がある)買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手(売手)であるインボイス発行事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となる。(国税庁HPより)		北海道	●	インボイス+「制度」	保留	⇒「インボイス」と同様に保留とすることに。
				東北	◎	上記の表現に「制度」を加えた表現		
				関東	●	指文字「インボイス」+「法」+「制度」		
				北信越		「消費税」+「請求」+「用制度」		
				東海	●	「いわれる」+「出す」+「制度」		
				近畿	◎	上記の22番+「制度」		
				中国	●	イ + 税 + 制度		
				四国	●	指文字 + /制度/ 又は /正しい/請求書/等/保存/方法		
九州	●	指文字「い」と「お」を合わせる+「請求」+制度						
24	インプラント(歯)	人の身体に埋め込む人工物のこと。歯科診療に用いられるインプラントは、「デンタルインプラント」という。(ライオン歯科HPより)	『聴覚管理指導に係る手話』に動画あり。歯などの場合も使える？ https://www.deafstudies.jp/osugi/cks/	北海道	◎+ア	左手の拳につぼめた右手でネジを回す様子+「補う」	◎ 創作手話	「インプラント」とは、人の身体に埋め込む人工物のこと。<インプラント>の標準手話はあるが、人工内耳ように作った表現は使えるか？ 9班の案を見ると、歯のインプラントをイメージする表現が多い。インプラントには歯以外の人工内耳やペースメーカーも含まれるが、日常生活の中で「インプラント」と言えば歯のインプラントが多いので、歯のインプラント表現を採用し、ラベルを「インプラント(歯)」とする。 ⇒<歯>+指骨に見立てた左手4指に右手人差し指を下に向けてねじり込み、+その位置に、右手5指でかぶせる動作をする ※関東班の案を参考
				東北	●	「人工」と「埋める」を組み合わせた表現		
				関東	保	「歯」+ 立てた左手人差し指に5指を曲げた右手をかぶせる		
				北信越		「人工」+「埋め込む」		
				東海	●	「手術」+「埋め込む」 (筑波技術大学)		
				近畿	◎	片手の拳にもう一方の人差し指でねじるように差し込む		
				中国	●	人工 + 入れ歯		
				四国	●	歯を指し左手人差し指を立て、右手でそれに被せねじる		
九州	●	歯 + 指文字「お」を下に向けて(非利き手)+すぼめた手をねじ込む(利き手)						
25	デジタルパーマ	薬液を付けてロッドで巻いた髪に、熱を加えてカールをつけるパーマのこと。熱を加えるのもちが良く、形状記憶パーマとも呼ばれている。個人差があるが、もちの目安は2~3か月。(ホット・ペッパー・ビューティーマガジンより)		北海道	△	「パーマ」にラベル追加	保留	9班の案を見ると、<デジタル>を使っている班がある。浸透している表現とは言え、意味が異なるため、<デジタル>の表現を使うかどうかで意見が分かれた。 ⇒美容関係者のろう者の意見を聞いてみるということで保留に。
				東北	●	「D」国際手話の指文字と「パーマ」を組み合わせた表現		
				関東		保留		
				北信越		「デジタル」+「パーマ」		
				東海	●	かぶる + 「パーマ」		
				近畿	ア	「デジタル」の手話をパーマのようにあてながら下す		
				中国	●	デジタル + パーマ		
				四国	●	/デジタル/ + /パーマ/		
九州	●	機械 + パーマ						
26	ダイナミックプライシング	消費者の需要と供給を考慮して、商品やサービスの価格を変動させる手法です。商品やサービスの原価をもとに価格を決めるのではなく、販売する時期における消費者の需要を勘案して、価格の設定を変えていく。例えば、ホテルの宿泊費や航空券の金額など。旅行業界では、シーズンによって消費者の需要が大きく変わるため、ゴールデンウィークや年末年始など、需要が多く見込まれる時期は価格を高くする。反対に、梅雨の時期などは閑散期になるので、価格を低くすることで売上の低下を防止できる。(ダイヤモンド・チェーン・ストア…価格・取り引き関連用語より)	※参考:<ロードプライシング(2022/2023-67)>	北海道	●	「ダイナミック」+「値段」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<季節>に価格変動をイメージする動きが多いが、季節に合わせて価格が変動するだけではない。<ダイナミック>も価格が変動する意味の既存手話もあるため、組み合わせることとする。 ⇒<ダイナミック>+<ロードプライシング>の2動作目(両手2指の輪を並べ斜めに上下させる) ※中国班の案を採用
				東北	●	「買い物」と「上がる下がる」を組み合わせた表現		
				関東	●	「月日」+「合わせる」+「値上げ」+「値下げ」		
				北信越		左手は「四季」の四本指 + 右手で金が高い安いを表現		
				東海	ア	左手「四」右手で「お金」を上下に右へ流す		
				近畿	ア	左手の「d」に「評価」の形の右手を波のように上下させる		
				中国	●	ダイナミック + 値上がり値下がり		
				四国	●	/季節/ + /価格/		
九州	●	季節(非利き手はそのまま) + お金を変動						
27	キキクル	大雨による災害発生の危険度の高まりを地図上で確認できる「危険度分布」の愛称。(気象庁HPより)		北海道	○	左手「れ」右手「危ない」+「レベル」	保留	9班の案を見ると、<危機>が<迫る><来る>という用語通りの表現が多いが、実際の「キキクル」は地図なので意味が合わないのではないかと。愛称通りの表現とするか、意味に合った表現とするか意見が分かれたため保留となった。 ⇒保留
				東北	●	「危機」と「来る」を組み合わせた表現		
				関東	●	「地図」+「心配」+ 左掌を立て右手親指側をつけて上げる		
				北信越		「地図」+「危機」(右手は5本指で)		
				東海	◎	指文字「き」を胸の近くに動かす		
				近畿	●	「危機」+「来る」		
				中国	●	危険 + 区別		
				四国	●	/危険/ + /迫ってくる/		
九州	●	危ない(頭の方)+手の形は「5」で甲を向ける(非利き手)+指文字「こ」を上下させる						

28	内水氾濫	<p>大量の雨水が排水できず洪水になること。 大量の雨に対して排水機能が追い付かずに、処理しきれない雨水で土地や建物が水に浸かってしまう現象のことです。浸水害とも呼ばれ、特に市街地などで発生する傾向にある。 (東急リパブル株式会社HPより)</p>		北海道	◎	左手小指を下にして立て、右手で細かく震わし水位を表す	ア アレンジ	<p>9班の案を見ると、近畿班など具体的な現象をそのまま視覚化されていてイメージしやすいが、それだけではないので、全体的な状況に合う表現を検討。</p> <p>⇒手のひら下向きの右手を親指を上にした左手の下方から上げて左手より少し下で止めて少し揺らす (<浸水>の2動作目のアレンジ)</p> <p>※北海道班の案を採用</p>
				東北	●	内部の水位が上がる様子と水が外側にあふれていく様子を組み合わせた表現		
				関東	◎	掌上向きで両手を離して水平に置く + 右手を左掌につけさらに超えさせる+「広げる」(水が満水を超え流れ出す様子)		
				北信越		左手で堤防を作り、手前の水位が上がる様子		
				東海	○	「雨」+「行き詰る」+上にやや動かす		
				近畿	◎	マンホールのように右手の拳に蓋をして水があふれる様子		
				中国	●	流れ + 止まる + 溢れる		
				四国	●	/雨/ + 水が溜まる		
				九州	●	内 + 水が上がる		
29	外水氾濫	<p>大量の雨による河川の氾濫や堤防の決壊で、市街地に水が流れ込む現象のこと。 (東急リパブルHPより)</p>		北海道	△	「氾濫」にラベル追加	ア アレンジ	<p>9班の案を見ると、水が堤防を越える表現が多いが、川などの「水量が増えてくる表現」も必要ではないか。</p> <p>⇒<津波>の右手を左手下方から水量があがるように上げて前方に越えさせる</p> <p>※北海道班・東北班・北信越班の案を参考</p>
				東北	●	外部の水位が上がる様子と水が内側に入ってくる様子を組み合わせた表現		
				関東	保	指先前で垂直に立てた左手を右手で超える		
				北信越		左手で堤防を作り、川から水が流れ込む様子		
				東海	○	「雨」+ 壁を越えて水が入ってくるしぐさ		
				近畿	◎	片手の肘を堤防に見立て、もう一方の手で水があふれる様子		
				中国	●	流れ + 流れ込む		
				四国	●	/川/ + 水が越えてくる様子		
				九州	●	外 + 水が上がる (広く)		
30	えぐい	<p>※研究員からの提案テーマ…「味覚」 「えぐい」とは、「最高」「素晴らしい」といった賞賛の意味合いや「酷い」「ありえない」といった否定の意味合いの両方で用いられる若者言葉。 本来は刺激の強い嫌な味覚のことを意味する表現。方言(特に関西弁)で使われているのを、テレビなどで見た若者が流行らせたのが始まり。 例えば「えぐい」が良い意味で使われるときには、単純に「すごい」「通常のレベルを超えている」、悪い意味では「ひどい」「不気味だ」「しんどい」などの意味がある。アニメ好きな人などが「えぐい」を使うときにはほとんどが、「可愛いすぎる」「かっこよすぎる」という良い意味で使われる。強い衝撃を受けたときに、好んで使われる。 もともととは、食べ物「えぐみ」が元になっている。口に入れたとき舌を強く刺激したり、喉に強いアタを感じたりするときに、「えぐみを感じる」などと使われる言葉だ。そこから意味が転じて、「厳しい」や「きつい」「辛い」「生々しい」「気味が悪い」などの意味で使われるようになった。 (実用日本語表現辞典より)</p>		北海道	△	「凄」にラベル追加	△ ラベルの追加	<p>良い意味と悪い意味の両方で使える表現が無いか検討。 9班の案を見ると、北海道・東海・近畿班の案が合うのでは。</p> <p>⇒<すごい・むごい・圧巻・劇的>と同じ</p> <p>※北海道班・東海班・近畿班の案を採用</p>
				東北	◎	驚いて目玉が飛び出す様子の表現		
				関東	保	指さして表情で素晴らしいやひどいを表す		
				北信越		指文字「え」を背中合わせで上下。「そぐわない」から		
				東海	○	すごい		
				近畿	保	「すごい」		
				中国	△	ひどい		
				四国	△	その時の状態に合わせた表現		
				九州	×	例文によって表現方法が変わるため、作成できず		
31	えぐみ			北海道	●	「味」+「凄」	△ ラベルの追加	<p>9班の案を見ると、口元・咽喉で苦味を表現するような案が多い。既存の<渋い>の表現に近いので、ラベル追加としたい。</p> <p>⇒<渋い>と同じ</p> <p>※班の案の採用なし</p>
				東北	◎	鳥肌が立つ様子の表現		
				関東	保	表情で表す。「味」+ 表情。人を指して表情。など		
				北信越		指文字「え」を背中合わせで上下 + 口をさ指さす		
				東海	●	「味」+「濃い」		
				近畿	●	「すごい」+「味」		
				中国	△	ひどい		
				四国	保	舌をこそげるとような様		
				九州	保	喉を掻く		
32	渋み	<p>※研究員からの提案テーマ…「味覚」 ① 渋い味。(例:「渋みの強い茶」など) ② じみで深みのある趣。(例:「渋みのある文章」など)(goo国語辞書より)</p> <p>渋い味の例…渋柿や西洋梨、緑茶、ワイン、コーヒーなど (日本成人病予防学会HPより)</p>	<渋い(わ5-120)>はある	北海道	保	右手3指で口をひっかくように下ろす	△ ラベルの追加	<p>ことばが、先ほど仮確定した<渋い>と同じなのでラベル追加としたい。</p> <p>⇒<渋い>と同じ</p> <p>※四国班の案を採用</p>
				東北	◎	指文字の「シ」を口の前で2回上下に動かす表現		
				関東	ア	すぼめた右手5指を口元に向け、右へ小刻みに動かす		
				北信越		「渋谷」の「渋」		
				東海	ア	すぼんだ右手を口元に当て、右手を少しずつ開く		
				近畿	●	「渋い」+「味」		
				中国	△	① 苦い ② 苦い+かっこいい		
				四国	△	/渋い/		
				九州	保	利き手を軽く曲げる(口のところ)		
33	味覚	<p>動物の5感の1つで、塩味・甘味・酸味・苦味・うま味の5つの基本味から構成される。 食べ物や飲み物に含まれる「化学物質」が舌の上に存在する「味蕾(味細胞)」に受容され、信号として脳に伝えられることで味が認識される。</p>	<p>参考: <五感(2015-86)> <聴覚(わ7-109)> <視覚(「薬」未発表)>(右「ひ」で右目を指す)</p>	北海道	●	「味」+「思う」	保 保存手話	<p>9班の案を見ると、漢字に合わせた表現が多いが、<聴覚>は耳を指さす、<視覚>は目を指さす、<触覚>は甲を撫でる表現なので、「味覚」は<味>だけで良いということに。(人差し指で指さすのではなく撫でて下ろす)</p> <p>⇒<味付け>の1動作目(右手人差し指で下唇を撫でて下ろす)</p> <p>※近畿班の案を参考</p>
				東北	●	「味」と「感覚」を組み合わせた表現		
				関東	◎	右手人差し指で舌を指す + 「感覚」		
				北信越		「舌」を指さし + 感じる		
				東海	●	右手の人差し指を口元に当て、「感覚」		
				近畿	ア	人差し指を口元に2回あてる		
				中国	●	味 + 覚		
				四国	●	/味/ + /感覚(聴覚の/覚/)		
				九州	●	味 + 覚える		
34	口当たり	<p>食べ物や飲み物を口に含んだときの感覚。舌ざわり。口触り。 (例:「さくさくした口当たりと上品な味わい」など) (日本語表現インフォより)</p>		北海道	●	「口」+「0.K」	● アレンジと組み合わせ	<p>9班の案を見ると、食べた時あとの口の動かし方や表情など工夫されていて分かりやすい。口の動きにするかという意見もあったが、検討した結果、近畿班の案がよいということに。</p> <p>⇒<お菓子A>(5指をつまむ)+掌上向きの左手指先に右手指先で小さく円を描く</p> <p>※近畿班の案を採用</p>
				東北	●	「味」と味を確かめる表情・口の動きを組み合わせた表現		
				関東	保	舌を指す + 口元で右手5指をすり合わせる		
				北信越		パクッと口に入れて味わう様子		
				東海	○	右手の人差し指を数回、口元に当てる		
				近畿	◎	「食べる」+ 両手をやわらかく回す		
				中国	●	食べる + 混ぜる		
				四国	保	指先を口に当てて 噛んでいるようす		
				九州	●	指をこする(口元で) ※口形付きで		

35	CODA(コーダ)	(CODA / Children of Deaf Adults) 耳が聞こえない、または聞こえにくい親のもとで育つ子ども。両親とも聞こえない場合も、一方が聞こえない場合も当てはまる。聞こえの程度は「ほとんど聞こえない」から「聞こえにくい」まで幅がある。 (社会をもっとよくする世界のアイデアマガジンより)	北海道	アメリカ手話より引用	当事者団体の表現を引用	9班の案は殆ど同じ。全国に普及している表現。「C」形の向きが異なるが検討した結果、当事者団体が使っている向きを引用することにした。 ⇒アルファベット「C」(5指)の指先を耳に近づけ、続けて口元に置く(向きは変えない) ※当事者団体の表現を引用 (北海道班・東北班・東海班・近畿班・中国班・四国班・九州班)
			東北	◎ アルファベット指文字の「C」を「ろう」と同じように動かす表現		
			関東	◎ 「C」を耳から口元へ		
			北信越	「C」を耳と口に当てる		
			東海	○ 指文字「C」を右と口に当てる		
			近畿	ア 「C」の形で、「響」を表す		
			中国	● C指文字 + 耳から口		
			四国	● /C/ を口と耳に当てる		
			九州	保 皆が使っているのと同じ		
36	SODA(ソーダ)	「Sibling Of Deaf Adult/Children(シブリング・オブ・デフ・アダルト/チルドレン)」から頭文字をとって「SODA」。 「聞こえない・聞こえにくいきょうだい」をもつ「聞こえるきょうだい」のこと。 (「SODAの会」を紹介するMIRAI PORTより)	北海道	◎ 親指と人差し指で丸を作り耳と口元につける	ア アレンジ	9班の案を見ると、「CODA」の「C」を「S」に変えた表現。同様に、手の向きを変えない表現に。 ⇒アルファベット「S」を耳に近づけ、続けて口元に置く(向きは変えない) ※北信越班・東海班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	◎ アルファベット指文字の「S」を「ろう」と同じように動かす表現		
			関東	◎ 「S」を耳から口元へ		
			北信越	「S」を耳と口に当てる		
			東海	○ 指文字「S」を右と口に当てる		
			近畿	ア 「S」の形で、「響」を表す		
			中国	● S指文字 + 耳から口		
			四国	● /S/ を口と耳にあてる		
			九州	◎ 皆が使っているのと同じで手の形はASLの「S」		
37	双六	サイコロを2個振り、出た目で駒を進めゴールを競うゲーム。 2つのサイコロが「六」を出すのが、一番大きな数。 「双方が六になる」という意味で「双六」という字があてられたのが名前の由来と言われている。(日本文化研究ブログより)	北海道	保 サイコロを転がし、コマを進める様子。	保 保存手話	9班の案を見ると、サイコロを投げてコマを進める表現が多い。サイコロの降り方、駒の持ち方、駒を進める回数などは色々あるが、状況に合わせて表現すればよいので、基本の形を決めることに。 ⇒指先上向きの右手を少し振ってサイコロを投げるように動かし、コマをつまんで前に2〜3回進める ※北海道班・東北班・関東班・北信越班・近畿班・四国班の案を採用
			東北	● サイコロをふる様子とマス目を進む様子を組み合わせた表現		
			関東	保 サイコロを振り前に投げる + コマをつまみ2回前に出す。		
			北信越	さいころを振り駒を進めるしぐさ		
			東海	○ さいころを振るしぐさ + 「遊び」		
			近畿	◎ サイコロを転がしてコマを動かす様子		
			中国	● 手もみ + 投げる		
			四国	● さいころをふる + 駒を進める		
			九州	保 さいころを転がす		
38	福笑い	「おかめ」、「ひょっとこ」といったお面の輪かくだけを描いた紙の上に、目かくしをされた人が、目や鼻、口などの顔の一部を自分のカンをたよりに正しく並べていく遊び。 この2つの顔が使われたのは、縁起(えんぎ)がいい、福を招くとされている顔で遊ぶことで、新年をめでたく迎えたいという考えから。 (Kids Web Japanより)	北海道	◎ 目隠しをして顔のパーツを置く様子	◎ 創作手話	9班の案を見ると、だいたい同じようなイメージの表現。 目隠しをする動作と、顔のパーツを置く動作の組み合わせになるが、置く動作が赤ちゃんのハイハイと間違わないような区別が必要。目隠しは後ろで結び動作があるほうがよい。 ⇒手ぬぐいで目隠しをするように頭の後ろで結び、掌下向きの両手を少し斜めに交互に位置を変えて置く ※東北班・九州班の案を採用
			東北	● 目かくしを様子と顔のパーツを置いていく様子を組み合わせた表現		
			関東	◎ 「正月」+ 両手で目隠し + 片手でパーツをつまんで2回置く		
			北信越	目隠しして手探りで福笑いに興じるしぐさ		
			東海	○ 目を上下に動かすしぐさ + 「遊び」		
			近畿	◎ 目隠し + 「置く」「置く」		
			中国	保 福 + 笑		
			四国	保 目隠しをして眉と口を触り 置く様子		
			九州	● タオルで目を隠すしぐさ + 置く(口形をつける)		
39	コマ遊び	奈良時代に中国から日本に伝わった伝承遊び。「物事が円滑に回る」という意味からお正月の遊びとしても親しまれてきた。紐を巻いたり持ち手をひねったり、また、投げる時に手首のスナップをきかせたり手の平をこすったり、形や遊び方はいろいろ。指や手全体を使う動きが必要。	北海道	保 「早い」でコマを回す仕草 + 遊び	保 保存手話	9班の案を見ると、だいたい同じような表現。基本の形を決めることに。ひもは丁寧に巻き、横向けに投げ、少し戻す動作がポイント。 ⇒コマにひもを巻くしぐさをし、横向けにしてコマを投げ、少し戻す ※関東班・近畿班・九州班の案を参考
			東北	◎ コマをまわす様子を表現		
			関東	● 両手2指の指先つけてコマ + 素早くひもを投げる		
			北信越	紐で駒を回し左手に載せる様子		
			東海	○ コマに糸を付け、投げるしぐさ + 「遊び」		
			近畿	◎ 独楽を投げる様子		
			中国	● こまなげる		
			四国	保 駒に糸を巻き投げる + /遊ぶ/		
			九州	保 投げるしぐさ(投げ方はそれぞれ自由)		
40	けん玉	今のけん玉は、「けん」と「血闘(さどう)」、それに「玉」の組み合わせとなっている。「血闘」の両側は大血と小血となっており、「玉」が約40センチメートル(約16インチ)の糸で結ばれている。「血闘」をつきすように、先がとがり(けん先と言います)、反対側が中血となっている「けん」がついている。「玉」には、けん先にすっぽりはまる丸い穴があいている。これをうまく操って、玉を大中小の皿に乗せたり、けん先で受け止めたりすることが基本で、そこから数え切れないほどの技が出てくる。 (Kids Web Japanより)	北海道	◎ 剣先に玉を乗せる様子	◎ 創作手話	9班の案を見ると、どの班も特徴的な動作になっている。どの動作を採用するか検討した結果、けん先に玉をかぶせる動作とすることに。北海道班のやり方がシンプルで良いのでは、ということに。 ⇒下に向けた右手5指の輪を前に弧を描きながら人差し指を上に向け、5指を右手人差し指にかぶせる 北海道班の案 ※北海道班の案を採用
			東北	◎ けん玉の玉をけん先に乗せる様子を表現		
			関東	◎ 左手けん玉、右手が玉。けん玉をする様子		
			北信越	けん玉をする様子		
			東海	○ 右手を縦横に動かすしぐさ + 「遊び」		
			近畿	◎ 人差し指に玉を差し込む様子		
			中国	● ボール + 操る		
			四国	保 けん玉をする様子		
			九州	● けん玉をもつてる(非利き手) + 球を乗せるイメージ(利き手)		
41	オセロ	縦横8×8の64の升目の盤と、表裏が黒白の円盤状の石を使い、2人のプレイヤーで競うボードゲーム。 相手の石を挟むように交互に盤面へ石を打ち、挟んだものは裏返す。最終的に盤上の石が多かった方の勝ちとなる。 玩具メーカー「つくだ」の登録商標。 (語源由来辞典より)	北海道	◎ 「黒」+「白」+ ひっくり返す様子	● 組み合わせ	「オセロ」は、全国ろうあ者大会の創作手話コンテストの課題にも出された。優勝者の表現は<オ>+2指(人差し・中指)でひっくり返す動作。 オセロは、黒と白の石を使うことが特徴。9班の案を見ると、北海道班と北信越班が<黒>+<白>が入っている。コマのひっくり返し方は人それぞれ、向きも、その場面に合わせて表せばよいということ。ここでは基本の返し方を決めることに。 ⇒<黒>+<白>+右手2指(人差し・中指)でひっくり返すしぐさ ※北海道班・北信越班の案を採用
			東北	● 「白」と「黒」と駒をひっくり返す様子を組み合わせた表現		
			関東	◎ 同色に挟まれて、間のコマがひっくり返される様子		
			北信越	「黒」+「白」+「裏返す」(オセロは黒が先行)		
			東海	○ 「お金」を上下にひっくり返すしぐさ		
			近畿	◎ コマを3回ひっくり返す		
			中国	保 山口県手話 変える		
			四国	保 オセロをする様子 石を裏返す		
			九州	● 指文字「お」+ めくるイメージ		

42	もの言う株主	株主として、経営陣に事業戦略や資本政策を提案する投資家のこと。自ら行動して企業の価値を引き上げ、株価を高める。ヘッジファンドの投資戦略の一つ。提案内容は、増配・自社株買いなどの株主還元や、事業売却、経営陣の刷新など幅広い。(日経4946より)	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「意見」+「助ける」+「株」「主」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「コメントする」と「株」と「主」を組み合わせた表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>5指で「言う」+「株」+「主」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>「注文を付ける」+「株主」</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>「文句言う」+「株」+「主」</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>ア</td><td>「株主」+「言う」繰り返す</td></tr> <tr><td>中国</td><td></td><td>検討不可</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/意見/意見/ + /株/ + /主/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>株 + 主 + 指摘</td></tr> </table>	北海道	●	「意見」+「助ける」+「株」「主」	東北	●	「コメントする」と「株」と「主」を組み合わせた表現	関東	●	5指で「言う」+「株」+「主」	北信越		「注文を付ける」+「株主」	東海	●	「文句言う」+「株」+「主」	近畿	ア	「株主」+「言う」繰り返す	中国		検討不可	四国	●	/意見/意見/ + /株/ + /主/	九州	●	株 + 主 + 指摘	<p>＜株主＞ ● 組み合わせ</p> <p>＜もの言う株主＞ ● 組み合わせ</p>	<p>まずは、「株主」の標準手話が無いので検討することに。 ＜株主＞ ⇒＜株＞+＜〇〇長・王＞</p> <p>「もの言う」の部分は、9班の案を見ると「文句を言う」「批判」などの表現を使う班があるが、批判だけではないので、一般的な表現が必要ではないか、ということ。</p> <p>＜もの言う株主＞ ⇒＜おしゃべり・口述・油を売る＞を真っ直ぐ2回出し、+＜株主＞</p> <p>※関東班の案を採用</p>
北海道	●	「意見」+「助ける」+「株」「主」																														
東北	●	「コメントする」と「株」と「主」を組み合わせた表現																														
関東	●	5指で「言う」+「株」+「主」																														
北信越		「注文を付ける」+「株主」																														
東海	●	「文句言う」+「株」+「主」																														
近畿	ア	「株主」+「言う」繰り返す																														
中国		検討不可																														
四国	●	/意見/意見/ + /株/ + /主/																														
九州	●	株 + 主 + 指摘																														
43	デフォルト ※経済とITでは違う	○全体…怠慢、(義務を)怠る、何もしないこと。 ○金融…不履行、債務不履行、滞納、債務を履行しない、支払いを怠る。 ○法律…欠席、(裁判を)欠席する、履行を怠る。 ○スポーツ…放棄、欠場、不出場、(途中で)破棄する、(試合を)欠場する。 ○コンピュータ…既定値、初期値、初期設定にする。 ○社会…不足、標準、元々、最初から、始めから。(ネクストSFAより)	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「サボる」と「パー(ダメになる)」を組み合わせた表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎△ △</td><td>A「お金」+「返す」+「切る」 B「逃げる」 C「元」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>A 壁に突き当たる +「元に戻す」 B 壁に突き当たる +「サボる」</td></tr> <tr><td>東海</td><td>◎</td><td>左手で「て」の親指に、右手「約束」の小指をひっかけ、左右に動かす</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>ア</td><td>①経済:「債務」+「逃げる」、②IT:「基本」</td></tr> <tr><td>中国</td><td></td><td>検討不可</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>指文字 又は /捨てる/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>×</td><td>例文によって表現方法が変わるため、作成できず</td></tr> </table>	北海道			東北	●	「サボる」と「パー(ダメになる)」を組み合わせた表現	関東	◎△ △	A「お金」+「返す」+「切る」 B「逃げる」 C「元」	北信越		A 壁に突き当たる +「元に戻す」 B 壁に突き当たる +「サボる」	東海	◎	左手で「て」の親指に、右手「約束」の小指をひっかけ、左右に動かす	近畿	ア	①経済:「債務」+「逃げる」、②IT:「基本」	中国		検討不可	四国	●	指文字 又は /捨てる/	九州	×	例文によって表現方法が変わるため、作成できず	<p>＜デフォルト(経済)＞ △ 保留 (衆院選用語にて検討)</p> <p>＜デフォルト(IT)＞ △ ラベルの追加</p>	<p>「デフォルト」は、いくつかの意味があるが、この委員会では「経済」「IT」関連の表現を検討することに。「IT」関連では、初期設定の意味があるので「基づいて・元」でよいだろう。「経済」関連では、債務不履行などの意味があるが、9班の案を見ると、壁に突きあたる、逃げるなど複数案があり、どれが適切表現か意見が分かれ、今回は保留とすることに。</p> <p>＜デフォルト(経済)＞ ⇒保留(衆院選用語にて検討)</p> <p>＜デフォルト(IT)＞ ⇒＜基づいて・元＞と同じ ※近畿班の案を採用</p>
北海道																																
東北	●	「サボる」と「パー(ダメになる)」を組み合わせた表現																														
関東	◎△ △	A「お金」+「返す」+「切る」 B「逃げる」 C「元」																														
北信越		A 壁に突き当たる +「元に戻す」 B 壁に突き当たる +「サボる」																														
東海	◎	左手で「て」の親指に、右手「約束」の小指をひっかけ、左右に動かす																														
近畿	ア	①経済:「債務」+「逃げる」、②IT:「基本」																														
中国		検討不可																														
四国	●	指文字 又は /捨てる/																														
九州	×	例文によって表現方法が変わるため、作成できず																														
44	フェアトレード	直訳すると「公平・公正な貿易」。つまり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいう。(フェアトレードジャパン公式サイトより)	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「平等(五分五分)」+「輸出入」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「午前」と「貿易」を組み合わせた表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「普通、平等」+「交易、輸出入」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>相手を敬う +「貿易」</td></tr> <tr><td>東海</td><td>○</td><td>右手を下、左手を上、両手を水平にしてから「貿易」</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>「平等」+「貿易」(標準手話<五角>の表現)</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>公 + 貿易</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/五分五分/ + /貿易/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>貿易 + 対等(2回)</td></tr> </table>	北海道	●	「平等(五分五分)」+「輸出入」	東北	●	「午前」と「貿易」を組み合わせた表現	関東	●	「普通、平等」+「交易、輸出入」	北信越		相手を敬う +「貿易」	東海	○	右手を下、左手を上、両手を水平にしてから「貿易」	近畿	●	「平等」+「貿易」(標準手話<五角>の表現)	中国	●	公 + 貿易	四国	●	/五分五分/ + /貿易/	九州	●	貿易 + 対等(2回)	● 組み合わせ	<p>「フェアトレード」は、直訳すると「公平・公正な貿易」。「公平・公正な」の部分、9班の案を見ると、五分五分(左右順に)、公、平等などに分かれている。近畿班の案で「貿易」を2回表すことに。</p> <p>⇒＜五角・均衡・相当A＞(同時に1回)+＜貿易＞を2回</p> <p>※近畿班の案を採用</p>
北海道	●	「平等(五分五分)」+「輸出入」																														
東北	●	「午前」と「貿易」を組み合わせた表現																														
関東	●	「普通、平等」+「交易、輸出入」																														
北信越		相手を敬う +「貿易」																														
東海	○	右手を下、左手を上、両手を水平にしてから「貿易」																														
近畿	●	「平等」+「貿易」(標準手話<五角>の表現)																														
中国	●	公 + 貿易																														
四国	●	/五分五分/ + /貿易/																														
九州	●	貿易 + 対等(2回)																														
45	押し入れ	押し込み(おしこみ)とも呼ばれる日本の住宅や和室における収納空間。中板により上下二段に仕切られ、通常上段には布団を収納し、下段には使わない家具や衣類などを格納する。湿気がこもりやすく結露なども発生しやすいため対策が必要となるスペース。(不動産用語集より)	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>保</td><td>襖を開く + 物(布団)を持って入れる様子</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>引き戸をあける様子と押し入れに物(布団など)が入っている様子を組み合わせた表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎</td><td>布団を入れてふすまを閉める</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>引き戸を開けて上の段に物をしましうぐさ</td></tr> <tr><td>東海</td><td>○</td><td>ふすまを開け、ものを入れるしぐさ</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>保</td><td>押し入れの戸を開ける様子</td></tr> <tr><td>中国</td><td>保</td><td>あげる</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>引き戸をあけて 荷物を入れる様子</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>ふすまを開けるしぐさ(両手で) + 保管</td></tr> </table>	北海道	保	襖を開く + 物(布団)を持って入れる様子	東北	●	引き戸をあける様子と押し入れに物(布団など)が入っている様子を組み合わせた表現	関東	◎	布団を入れてふすまを閉める	北信越		引き戸を開けて上の段に物をしましうぐさ	東海	○	ふすまを開け、ものを入れるしぐさ	近畿	保	押し入れの戸を開ける様子	中国	保	あげる	四国	●	引き戸をあけて 荷物を入れる様子	九州	●	ふすまを開けるしぐさ(両手で) + 保管	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、との開け方が色々。標準手話<ふすま>の動作を使うことに。また、「布団を収納する」イメージと紛らわしいので区別する。</p> <p>⇒＜ふすま>の2動作目(襖を開ける動作)+＜布団>の手形で上の段に入れる動作</p> <p>※四国班の案を参考</p>
北海道	保	襖を開く + 物(布団)を持って入れる様子																														
東北	●	引き戸をあける様子と押し入れに物(布団など)が入っている様子を組み合わせた表現																														
関東	◎	布団を入れてふすまを閉める																														
北信越		引き戸を開けて上の段に物をしましうぐさ																														
東海	○	ふすまを開け、ものを入れるしぐさ																														
近畿	保	押し入れの戸を開ける様子																														
中国	保	あげる																														
四国	●	引き戸をあけて 荷物を入れる様子																														
九州	●	ふすまを開けるしぐさ(両手で) + 保管																														
46	クローゼット	押し入れ、物入れなどのことで、特に衣類をしましう収納庫を指す。コートを入れられるサイズの奥行き・高さをもつ収納庫。(不動産用語集より)	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>◎</td><td>戸を開ける + 「ぬ」(ハンガー)を2~3回</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>両開きの扉をあける様子とハンガーがかかっている様子を組み合わせた表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎</td><td>ハンガーがかかっている様子 + 両開きのドアを開く</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>観音開きでハンガーをかけるしぐさ</td></tr> <tr><td>東海</td><td>○</td><td>服を掛け、とびらをしましうぐさ</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>取っ手で開けて、ハンガーを掛ける様子</td></tr> <tr><td>中国</td><td>保</td><td>ドアあげる</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>引き戸をあけて ハンガーを掛ける様子</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>指文字「く」で開ける + ハンガー</td></tr> </table>	北海道	◎	戸を開ける + 「ぬ」(ハンガー)を2~3回	東北	●	両開きの扉をあける様子とハンガーがかかっている様子を組み合わせた表現	関東	◎	ハンガーがかかっている様子 + 両開きのドアを開く	北信越		観音開きでハンガーをかけるしぐさ	東海	○	服を掛け、とびらをしましうぐさ	近畿	◎	取っ手で開けて、ハンガーを掛ける様子	中国	保	ドアあげる	四国	●	引き戸をあけて ハンガーを掛ける様子	九州	●	指文字「く」で開ける + ハンガー	◎ 創作手話	<p>9班の案を見ると、扉の開け方が色々。一般的な開け方はどれか意見交換した結果、近畿班の案とすることに。</p> <p>⇒立てた左手拳で扉を開け+左手残したまま、右手でハンガーを3回くらいかける動作</p> <p>※近畿班の案を採用</p>
北海道	◎	戸を開ける + 「ぬ」(ハンガー)を2~3回																														
東北	●	両開きの扉をあける様子とハンガーがかかっている様子を組み合わせた表現																														
関東	◎	ハンガーがかかっている様子 + 両開きのドアを開く																														
北信越		観音開きでハンガーをかけるしぐさ																														
東海	○	服を掛け、とびらをしましうぐさ																														
近畿	◎	取っ手で開けて、ハンガーを掛ける様子																														
中国	保	ドアあげる																														
四国	●	引き戸をあけて ハンガーを掛ける様子																														
九州	●	指文字「く」で開ける + ハンガー																														
47	高断熱(高気密)	「断熱」…断熱材を壁などに充填、または外側から覆って家の中と外の環境を分け、熱が伝わるのを少なくすること。「気密」…家の隙間をできるだけ無くし、家の中と外の空気の交わりを断ち切ること。(断熱住宅.comより)	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>両手で厚さを表し左右へ広げる + 左手の甲で「反射」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「家」と熱を反射する様子を組み合わせた表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎</td><td>左手で壁 + 右手人差指を甲に当てはじき、内側で空気を対流</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>温度の高い低い + 「跳ね返す」</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>「良い」「熱」(空気)「反射」</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>壁に熱が反射する様子</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>壁 + 反応</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/高熱/ + /はじき返す/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>×</td><td>作成できず</td></tr> </table>	北海道	ア	両手で厚さを表し左右へ広げる + 左手の甲で「反射」	東北	●	「家」と熱を反射する様子を組み合わせた表現	関東	◎	左手で壁 + 右手人差指を甲に当てはじき、内側で空気を対流	北信越		温度の高い低い + 「跳ね返す」	東海	●	「良い」「熱」(空気)「反射」	近畿	◎	壁に熱が反射する様子	中国	●	壁 + 反応	四国	●	/高熱/ + /はじき返す/	九州	×	作成できず	<p>＜はね返す＞ ア アレンジ</p> <p>＜高断熱(高気密)＞ ア● アレンジとの組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、「はね返す」動作が色々あるが、北信越班の案が良いということ。他でも組み合わせるために単独ラベルを作る。標準手話<気温(わ5-88)>の動作を確認。右手は上下しないでゆっくり上げる表現。</p> <p>＜はね返す＞ ⇒立てた左手拳に右手人差指の先をあてて斜め前方へはね返す</p> <p>＜高断熱(高気密)＞ ⇒＜気温＞(右手はゆっくり上げる)+＜はね返す＞</p> <p>※●班の案を採用</p>
北海道	ア	両手で厚さを表し左右へ広げる + 左手の甲で「反射」																														
東北	●	「家」と熱を反射する様子を組み合わせた表現																														
関東	◎	左手で壁 + 右手人差指を甲に当てはじき、内側で空気を対流																														
北信越		温度の高い低い + 「跳ね返す」																														
東海	●	「良い」「熱」(空気)「反射」																														
近畿	◎	壁に熱が反射する様子																														
中国	●	壁 + 反応																														
四国	●	/高熱/ + /はじき返す/																														
九州	×	作成できず																														
48	エシカル消費	「倫理的な消費」という意味。倫理的な消費とは、自分の損得だけを考えるのではなく、環境や社会、人などに配慮されたものを選ぶなど、社会的な課題の解決につながるような消費をすること。安くて良いものが簡単に手に入り、便利な世の中になった反面、劣悪な労働環境や環境破壊など、たくさん問題が存在している。消費者一人ひとりがエシカル消費を実践すれば、製品やサービスを提供する側もエシカルな観点で行動するようになり、未来をより良いものへ変えていくことができる。(エバーグリーン・マーケティングより)	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>「使う」の右手を「え」に変更</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>指文字の「エ」を「アルファα」のような形に動かす表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「マナー」+「関係」を水平に回す + 「消費」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>「使う」の右手が指文字「え」</td></tr> <tr><td>東海</td><td>◎</td><td>指文字「え」を「∞」に動かし、「消費」</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>「え」で∞のように描く + 「消費」</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>エ + エシカル消費のマーク</td></tr> <tr><td>四国</td><td>◎</td><td>マークからの発想</td></tr> <tr><td>九州</td><td>◎</td><td>消費の利き手を「え」に変える</td></tr> </table>	北海道	ア	「使う」の右手を「え」に変更	東北	●	指文字の「エ」を「アルファα」のような形に動かす表現	関東	●	「マナー」+「関係」を水平に回す + 「消費」	北信越		「使う」の右手が指文字「え」	東海	◎	指文字「え」を「∞」に動かし、「消費」	近畿	◎	「え」で∞のように描く + 「消費」	中国	●	エ + エシカル消費のマーク	四国	◎	マークからの発想	九州	◎	消費の利き手を「え」に変える	◎ 創作手話	<p>9班の案を見ると、用語に合わせた表現と、マークの形に合わせた表現に分かれる。「パラリンピック」「SDGs」「Android」「フリーダイヤル」など、マークの表現があるので、指文字「エ」でマークの形を描くことに。</p> <p>⇒指文字「エ」で∞(マークの形)を描く</p> <p>※東北班・中国班・四国班の案を採用</p>
北海道	ア	「使う」の右手を「え」に変更																														
東北	●	指文字の「エ」を「アルファα」のような形に動かす表現																														
関東	●	「マナー」+「関係」を水平に回す + 「消費」																														
北信越		「使う」の右手が指文字「え」																														
東海	◎	指文字「え」を「∞」に動かし、「消費」																														
近畿	◎	「え」で∞のように描く + 「消費」																														
中国	●	エ + エシカル消費のマーク																														
四国	◎	マークからの発想																														
九州	◎	消費の利き手を「え」に変える																														

49	バウンスボール	直径25cmほどの柔らかいボールを素手で打ち、相手のコートの中に戻すテニスみたいなスポーツ。ワンバウンドしたボールを1回で打ち返す。バドミントンシングルコートと同程度のコートで、基本的に3人対3人で対戦。1セット15点3セットマッチ。子どもから高齢者まで誰もが心を通わせ、ふれあえる生涯スポーツ、コミュニケーションスポーツ。 (国立青少年教育振興機構HPより)	https://t-santai.tottori-sf.net/newsports_top/newsports_rule/bounceball/	北海道	◎	日本式アルファベット「B」の右手を前に出す + 下手打ち	◎ 創作手話	9班の案を見ると、数回バウンドしたり、2回打ち返したりがある。ルール上は、「ワンバウンドしたボールを1回で打ち返す」となっているので、北信越班の案が合う。 ⇒ 右手指を上に向けたボールを左へ1回バウンドさせ、+ラケットに見立てた左手掌で打つ動作 ※北信越班の案を採用
				東北	◎	ボールがボールにぶつかる様子を表現		
				関東		保留		
				北信越		ボールをバウンドさせ手で打ち返すしぐさ		
				東海	○	ボールを持った左手を右手でたたき、左手をバウンドさせる		
				近畿	ア	手のひらでテニスのように表す		
				中国	●	ボール + テニス		
				四国	●	左手ボールをつくりバウンドさせ、右掌で打ち返す		
				九州	◎	ボールを1回バウンドさせるしぐさ		
50	ブルーカーボン	(Blue Carbon)・・・海洋生物の働きによって海洋環境に吸収・貯留されている炭素のこと。2009年、国連環境計画 (UNEP)の報告書「BLUE CARBON」によって定義された。ブルーカーボンを吸収・貯留する海洋の生態系は、「ブルーカーボン生態系」と呼ばれている。 (朝日新聞デジタルより)	中国班:高塚...海中+炭素A、または炭素B でよい? 参考: <炭素A・B> <脱炭素(社会)・カーボンニュートラルA・B>は、2-21年6月確定あり。	北海道	●	「青」+「波」+「C」	<ブルーカーボンA> ● 組み合わせ <ブルーカーボンB> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、<青>または<海>と<炭素>の組み合わせがほとんど。表現しやすい<青>+<炭素A(またはB)>を採用。 <ブルーカーボンA> ⇒<青>+<炭素A(2021年6月確定)> (元素) ※北信越班の案を採用 <ブルーカーボンB> ⇒<青>+<炭素B(2021年6月確定)> (5指のC) ※東海班・近畿班の案を採用
				東北	●	アルファベット指文字の「B」と「C」を表現		
				関東	●	「青」+「海」+「C(カーボン)」		
				北信越		「青」+「カーボン」		
				東海	●	「青」+「C」		
				近畿	●	「青」+「炭素」		
				中国	●	海の下 炭素 C指文字		
				四国	●	/海/ + /C/ または/炭素/		
				九州	●	ASL「B」+ ASL「C」		